

茨南だより

3 S

察知

+1

誠意

スピード感

改革意欲

NO. 8

2025. 1. 27

県南教育事務所長
戸祭 勝典

昨年中は、県教育委員会の諸事業等に、ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年の教育関係の出来事を振り返ってみますと、学力面では TIMSS2023 において、算数・数学、理科ともに高い水準を維持している結果となりました。また、本年度から英語のデジタル教科書が提供されているほか、生成 AI の利活用に関するガイドラインが年末に公表されるなど、ICT の環境整備が着実に進んできています。生徒指導面では、8月に「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が改訂され、また、10月には生徒による「闇バイト」に関する悪質な強盗事件に関与する事案が発生し、社会に衝撃を与えました。

さらに、先生方を取り巻く環境では、教職調整額を現在の基本給の4%から段階的に引き上げて10%にする方針を固めたこと、2024年度に採用された公立教員の採用倍率は、3.2倍と「過去最低」を更新したとの報道があったところです。

このように、各学校における教育活動や先生方を取り巻く環境は、毎年毎年、大きく変化しています。変化に対応するためには、まず、その変化や予兆を認識したり、把握したりする必要があります。そのような中で、前述の出来事を全て理解している先生はどれくらいいらっしゃるでしょうか。社会状況等を踏まえながら、子供たちに身に付けさせるべき力とはどんな力なのか、今何をすべきかを、絶えず考えながら日々の教育活動に向き合っていくことを忘れてはならないと思うのです。県南教育事務所といたしましては、より良い学校教育活動の実践に向けて、各学校や先生方のお役に立てるよう努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

人事課

★信頼され 笑顔あふれる学校づくりのために★

令和6年11月27日（水）県南教育事務所にて、令和6年度優秀教職員表彰伝達式を行いました。

では、「学校現場において幼児児童生徒のために、学習指導や生徒指導等の教育分野のうち特定の分野において創意にあふれ特色ある指導を実践し、顕著な教育効果をあげており、他の教職員の模範となる教職員」を優秀教職員とし、その功績を表彰しています。

なお、「教職員」とは、県立学校及び市町村立学校（幼保連携型認定こども園を含む）の主幹教諭、指導教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭、実習助手、寄宿舎指導員及び事務職員等をいいます。（ただし、任期を付して任用された者を除きます。）

今年度の表彰者は以下の2名です。この度の受賞、誠にありがとうございます。今後、地域のリーダーとして活躍することを期待しています。

勤務校 氏名 職名	功績（具体的な実践）
つくばみらい市立すみれ幼稚園 金岡 麻友子 教諭	〈幼児教育〉 ○遊びを通じた異年齢保育や幼児の主体性を育むための話し合い活動 ○市内職員の保育に関する資質・能力向上に向け、自身の実践やその成果を情報発信
土浦市立右籾小学校 福島 さえこ 教諭	〈学習指導〉 ○学力向上に向けた協働学習や効果的なICT機器の活用 ○他教員の授業力向上に向け、自身の実践やその成果を研修講座で発表



おめでとう
いっしょに





令和6年12月16日(月)に県議会において職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が可決され、月例給は4月に遡り、また一般職員の12月期期末及び勤勉手当の率は従前と比べて0.05月分それぞれ引上げとなりました。その差額は令和6年12月26日(木)に支給されていますので、確認をお願いいたします。



11月16日(土)土浦合同庁舎を会場に「中学生・高校生のための教職セミナー」を実施しました。今年度から高校生も参加で開催したところ、県内各地から教職に興味・関心のある中学生・高校生合わせて34名の参加がありました。セミナーでは、協力者として県南の小中学校、県立高等学校、県立特別支援学校の教諭、養護教諭10名が参加し、グループトークを行いました。グループトークでは、若い先生方に教員の魅力ややりがいについて語っていただきました。タブレットを使ったプレゼン資料や日頃授業で使っている教具等を用意し、それらを用いながら一生懸命に語り掛ける若い先生方の姿。そして、その言葉を真剣に聞き入っている中学生・高校生の姿はとても感動的でした。現職の若い先生方が熱心に思いを伝えてくれたおかげで、中学生・高校生は教職の魅力を感じ取ることができたに違いありません。



市町村教育委員会紹介



阿見町教育委員会

《 平和への思い 》

阿見町では、平和教育に力を入れています。小学校では、町内にある予科練平和記念館に校外学習として足を運び、戦争と平和について学ぶ機会があります。そして中学生になると、希望した代表生徒が、毎年広島平和記念式典に参加しています。参加に至るまでに、各自が再度予科練平和記念館に足を運び、小学生の時とは違った視点で戦争と平和について考えます。そして自分の考えをしっかりと抱いたうえで式典に臨みます。2泊3日という短い期間ではありますが、行きと帰りでは子どもたちの顔つきには、はっきりとした違いが見られるようになります。帰校してからも、各自の学びを全校生徒の前で発表したり、文集にまとめ町内の施設に配付したりすることで、各自の学びと平和への思いを広げています。また、中学校では、阿見平和の会の方が原爆時の絵画や写真を期間限定で各学校に展示していただきます。14才半から17才までの予科練習生が過ごした町だからこそ発信できるものを考え、今後も平和教育に力を入れていきたいと思えます。予科練平和記念館では、県内の小中学校による校外学習等での利用の場合は無料となっておりますので、ご来館もお待ちしております。



《 就学前学習会の開催 》



今年度新たな試みとして、8月27日に次年度町内の小学校に就学となる幼児の保護者を対象に就学前学習会を開催しました。町内の小学校及び美浦特別支援学校の特別支援教育コーディネーターより、特別支援教育や特別支援学校の概要・現況についての説明や特別支援教育を受けている児童の保護者による体験談等をお話いただきました。就学前相談をどのように行ったらよいか、学びの場にはどのような選択があるのかといった就学前の保護者の悩みを和らげる機会になったのではないかと感じています。今後もさらに保護者の相談サポートの充実を図っていきたく考えています。